

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第12週[3月21日～3月27日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

ホームページアドレス変更のお知らせ

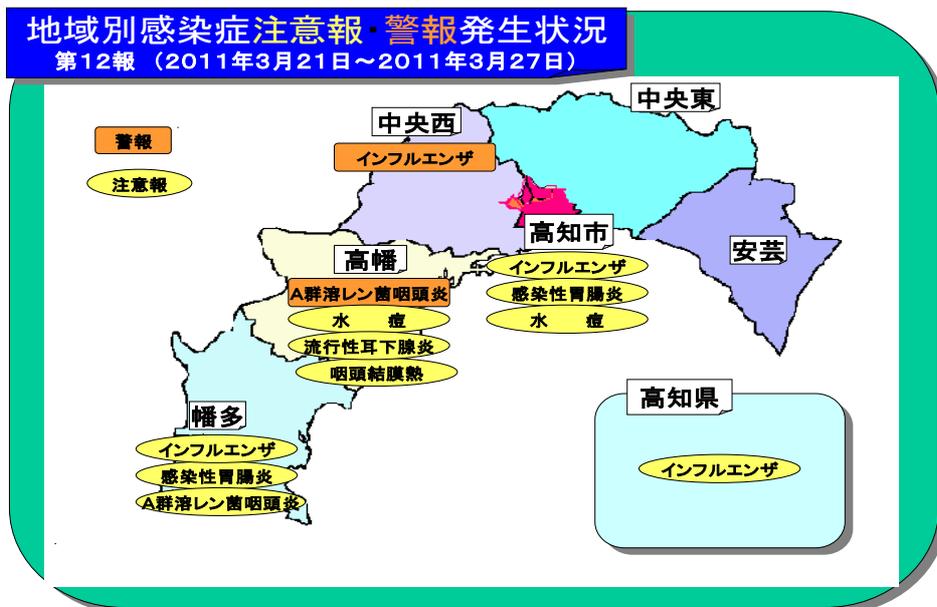
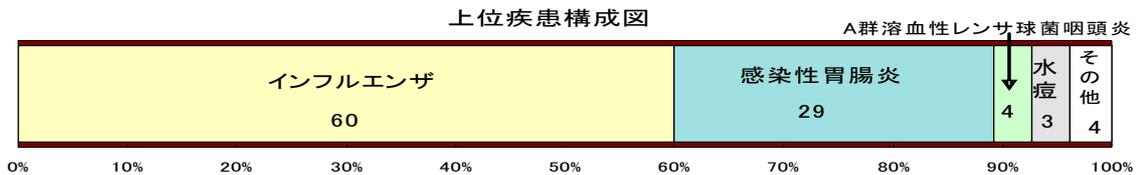
この度、高知県衛生研究所のホームページのアドレスが変更になりましたので、お知らせいたします。
新しいアドレスは <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/> です。今後ともよろしくお願いたします。

県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：インフルエンザ

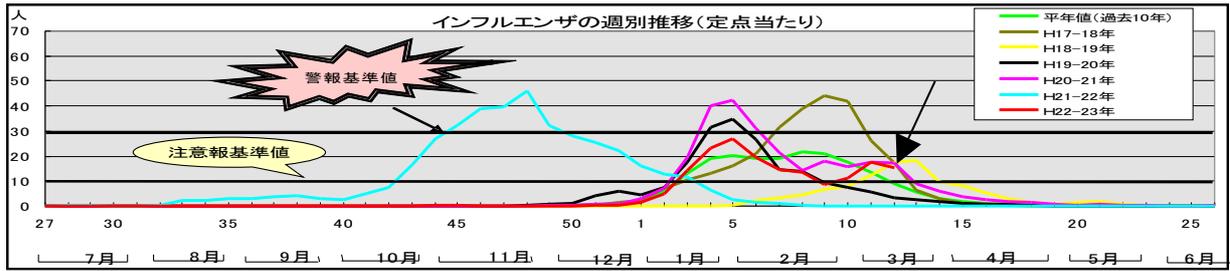
- 週の中頃以降は晴れの天気が続いたが、気温は低く厳しい寒さとなった。
- インフルエンザ（中央西：注意報→警報，幡多：警報→注意報，高知市：注意報→注意報）は総数は減少したが、引き続き注意報値を超している。
- 感染性胃腸炎（高知市：注意報→注意報，幡多：注意報）は総数は横ばいで、例年と比較して高いレベルで推移している。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（高幡：注意報→警報，幡多：警報→注意報）は高幡で増加したが、その他の地域で減少し、総数は前週の約6割に減少し注意報値を下回った。
- 水痘（高幡：注意報→注意報，高知市：注意報）は高知市で増加したが、その他の地域で減少し、総数はやや減少した。高幡と高知市では注意報値を超しているが、全体としては例年と比較して低いレベルで推移している。



インフルエンザ：今週 15.38 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

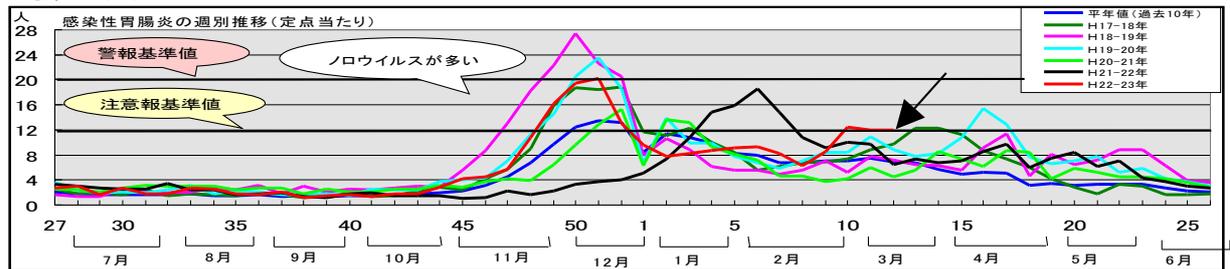
幡多，高幡，中央東で減少し，総数は減少した。その他の地域で増加し，中央西では警報値を超した。幡多では警報値を下回ったが，高知市とともに注意報値を超している。年齢別にみると，5～9歳が36.9%，10～14歳が26.0%，1～4歳が17.2%の順で報告が多い。今週はInfluenza B が4件検出された。定点からのコメントを集計すると，迅速キットでB型陽性が83%を占めている。

また、施設別発生状況では、1保育所で患者数15名となり、休園の措置が取られた。学校等が春休みに入ったことで今後は減少していくと思われるが、しばらくは注意が必要である。



感染性胃腸炎：今週 11.97 （注意報値：12.00 警報値：20.00）

安芸、中央東、高知市で減少したが、その他の地域で増加し、総数は横ばいの報告となった。高知市と幡多で注意報値を超しており、総数は注意報値に迫る報告数となっており、引き続き注意が必要である。



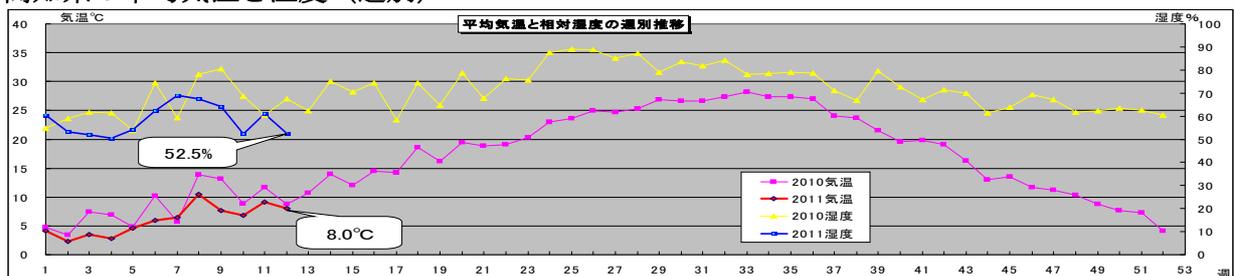
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
11	インフルエンザ	46歳 男	高幡	Influenza virus B
11	インフルエンザ	56歳 男	高幡	Influenza virus B
12	インフルエンザ	5歳 女	高知市	Influenza virus B
12	インフルエンザ	6歳 男	高知市	Influenza virus B
12	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳 男	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-12
12	マイコプラズマ肺炎	5歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 1例（80代男）《中央東》（今年31例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの35例中6例はA型陽性、29例はB型陽性

《さたけ小児科》：インフルエンザの93例中4例はA型陽性、73例はB型陽性

《大井田病院小児科》：インフルエンザの6例は全てB型陽性

《渭南病院小児科》：インフルエンザの2例中1例はA型陽性、1例はB型陽性、予防接種歴あり1例、なし1例
アデノウイルス咽頭炎 1例（4歳男）

《こいけクリニック》：インフルエンザの56例中7例はA型陽性、49例はB型陽性

《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの18例中5例はA型陽性、13例はB型陽性

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの17例中7例はA型陽性、10例はB型陽性、予防接種歴ありは4例

滲出性扁桃炎（アデノウイルス） 1例（3歳女）

マイコプラズマ肺炎 2例（4歳女、5歳男）

《大西病院小児科》：インフルエンザの13例中2例はA型陽性、11例はB型陽性（14歳以下は全てB型陽性）

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの6例中1例はA型陽性、5例はB型陽性

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの45例中4例はA型陽性、41例はB型陽性、予防接種歴ありは14例
帯状疱疹 1例（13歳男） 流行性耳下腺炎の1例（2歳男）は予防接種済み

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの54例中2例はA型陽性、52例はB型陽性、うち9例は予防接種歴あり [B型陽性のうち2例（4,6歳女）はいの町]
感染性胃腸炎の1例（2歳女）は高知市

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの28例中5例はA型陽性、23例はB型陽性

高知市：

《細木病院小児科》：インフルエンザの9例中5例はA型陽性、4例はB型陽性

《矢野小児科》：インフルエンザの33例中2例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの4例中1例はA型陽性、3例はB型陽性、予防接種歴ありは1例

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの33例中4例はA型陽性、29例はB型陽性、予防接種歴ありは11例
アデノウイルス陽性 6例（0～5歳男女） 帯状疱疹 1例（2歳男）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの20例中4例はA型陽性、16例はB型陽性

《依岡内科》：インフルエンザの3例中1例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの5例は全てB型陽性、予防接種歴ありは3例

《細木病院内科》：インフルエンザの6例中3例はA型陽性、3例はB型陽性、予防接種歴なしは3例

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの7例中4例はB型陽性、予防接種歴なしは5例

《近森病院内科》：インフルエンザの14例中3例はA型陽性、7例はB型陽性、うち予防接種歴なしは3例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの9例は全てB型陽性、予防接種歴ありは3例

《町田病院》：流行性角結膜炎の2例中1例はアデノウイルス陽性

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの6例は全てB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの13例は全てB型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性、予防接種歴あり

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性、予防接種歴ありは1例

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの13例中1例はA型陽性、12例はB型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの6例中5例はB型陽性

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの15例中1例はA型陽性、10例はB型陽性、予防接種歴なし

《田野病院小児科》：インフルエンザの12例は全てB型陽性、予防接種歴ありは4例

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

全国情報第10週（3/7～3/13）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核375例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症6例、パラチフス2例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎3例、デング熱2例、マラリア1例、レジオネラ症3例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎（B型）2例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群17例（AIDS 4例、無症候12例、その他1例）、梅毒8例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例、麻しん4例

報告遅れ：急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例

◆インフルエンザ

報告数は2011年第5週以降減少が続いていたが、第10週の定点当たり報告数は16.81と前週（13.85）よりも増加した。また、第10週は岩手県の一部（3保健所）、宮城県、福島県からは報告はなかったにもかかわらず、患者報告数も79,174と、前週の68,327を上回った。都道府県別では山口県（43.96）、大分県（37.67）、愛知県（35.64）、三重県（30.96）、岐阜県（29.98）、福岡県（27.79）、富山県（26.27）、広島県（23.25）の順である。宮城県、福島県を除く45都道府県中40都道府県で定点当たり報告数の増加が認められている。また、岩手県、宮城県、福島県を除く東北各県とその周辺の全ての県でも、報告数の増加がみられた。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約68万人（暫定値）となり、年齢群別では5～9歳約27万人（39.7%）、10～14歳約15万人（22.1%）、0～4歳約10万人（14.7%）、30代約5万人（7.4%）の順であった。0～14歳の年齢層で増加がみられている。2010年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は約1,030万人（暫定値）であり、その内訳は男性51.2%、女性約48.8%、年齢群別では5～9歳23.4%、10～14歳14.2%、0～4歳13.1%、20代12.7%の順となっている。

2010年第36週～2011年第10週までの期間中に国内では8,122検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm 5,121件、AH3亜型（A香港型）2,429件、B型572件とAH1pdmが最多を占めている。一方、2011年第6～10週までの直近の5週間では、総検出報告数1,256検体中AH3亜型521件（41.5%）、AH1pdm 502件（40.0%）、B型233件（18.6%）であり、AH3亜型の検出が最多となっている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(11週)	高知県(12週末累計) H23/1/3~H23/3/27
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	28	62	235	163	38	212	738 (15.38)	838 (17.46)	82,523 (17.25)	8,194 (170.71)
小児科	咽頭結膜熱		2	4		2	1	9 (0.30)	3 (0.10)	1,171 (0.38)	97 (3.23)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	8	5	8	13	44 (1.47)	69 (2.30)	7,357 (2.41)	592 (19.73)
	感染性胃腸炎	13	69	163	34	12	68	359 (11.97)	359 (11.97)	28,686 (9.38)	3,371 (112.37)
	水痘		11	22	1	5	2	41 (1.37)	52 (1.73)	5,269 (1.72)	669 (22.30)
	手足口病			4				4 (0.13)	10 (0.33)	405 (0.13)	80 (2.67)
	伝染性紅斑			2				2 (0.07)	4 (0.13)	1,824 (0.60)	39 (1.30)
	突発性発疹		2	2	3	1	3	11 (0.37)	14 (0.47)	1,469 (0.48)	126 (4.20)
	百日咳									80 (0.03)	6 (0.20)
	ヘルパンギーナ	1			1	1		3 (0.10)	1 (0.03)	86 (0.03)	22 (0.73)
	流行性耳下腺炎		1	2	2	3		8 (0.27)	8 (0.27)	2,981 (0.97)	71 (2.37)
	RSウイルス感染症			3			5	8 (0.27)	6 (0.20)	794 (0.26)	548 (18.27)
眼科	急性出血性結膜炎									13 (0.02)	(0.00)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	1 (0.33)	285 (0.44)	12 (4.00)
基幹	細菌性髄膜炎									8 (0.02)	1 (0.14)
	無菌性髄膜炎								2 (0.29)	13 (0.03)	8 (1.14)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	1 (0.14)	142 (0.32)	21 (3.00)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									6 (0.01)	1 (0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	42 (14.00)	157 (19.21)	448 (33.78)	209 (47.93)	70 (25.50)	304 (44.90)	1,230 (31.68)				
前週 (小児科定点当たり人数)	39 (15.00)	202 (25.48)	435 (33.45)	182 (41.20)	71 (24.00)	439 (60.75)		1,368 (34.99)	133,112	13,858 (358.08)	

定点当たり

第12週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(11週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	7.00	5.64	14.69	32.60	9.50	26.50	15.38	17.46	17.25
小児科	咽頭結膜熱		0.29	0.36		1.00	0.20	0.30	0.10	0.38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.43	0.73	1.67	4.00	2.60	1.47	2.30	2.41
	感染性胃腸炎	6.50	9.86	14.82	11.33	6.00	13.60	11.97	11.97	9.38
	水痘		1.57	2.00	0.33	2.50	0.40	1.37	1.73	1.72
	手足口病			0.36				0.13	0.33	0.13
	伝染性紅斑			0.18				0.07	0.13	0.60
	突発性発疹		0.29	0.18	1.00	0.50	0.60	0.37	0.47	0.48
	百日咳									0.03
	ヘルパンギーナ	0.50			0.33	0.50		0.10	0.03	0.03
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18	0.67	1.50		0.27	0.27	0.97
	RSウイルス感染症			0.27			1.00	0.27	0.20	0.26
眼科	急性出血性結膜炎									0.02
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.44
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎								0.29	0.03
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.14	0.32
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01
計 (小児科定点当たり人数)	14.00	19.21	33.78	47.93	25.50	44.90	31.68			
前週 (小児科定点当たり人数)	15.00	25.48	33.45	41.20	24.00	60.75		34.99		

2011年週報推移(定点当たり)

